

作成 1993年 6月 1日

改訂 2009年 1月 9日

製品安全データシート

1. 製品名及び会社情報

製品名 : ドーナクリートSタイプ
 会社名 : 積水フーラー株式会社 滋賀工場
 住所 : 滋賀県甲賀市水口町泉 1259 (〒528-0056)
 担当部門 : 技術課
 電話番号 : 0748-62-8154
 F A X 番号 : 0748-62-8174
 緊急連絡先 : 上記担当部門
 整理番号 : E P O - 6 0 2

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : セメント、珪砂、炭素繊維、他既調合粉体

成分	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	含有量
ポルランドセメント	65997-15-1		50～60%
シリカ	7631-86-9	1-548	約1%
炭素繊維	7440-44-0		1%未満
多既調合粉体	社外秘にて非公開		40～50%

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 粉塵を長期にわたり多量に吸引したとき、呼吸器への影響を生ずる恐れがある。

有害性 : 水と接触すると、水酸化カルシウムを生じアルカリ性を呈し(PH=11~13)、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こすことがある。飲み込むと、のどを刺激する。

極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にはアレルギーが起こる可能性がある。

物理的及び化学的危険性 : 不燃性であり、通常取り扱い上危険な製品ではない。

分類の名称(分類は日本方式) : 分類基準に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気下に移し、水又は温水でうがいさせ速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : すぐに拭き取り、石鹸水と湯などで洗い流す。かゆみ、炎症が出た場合速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 多量の水でよく洗い流す。取りのぞけない場合やかゆみ、炎症等異常のある場合は直ちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ、吐き出させ後、速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 不燃物質であり、必要としない。

消火方法 : 不燃物質であり、製品による火災は発生しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：大量に漏出した場合、漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等には直接流出しないように対策をとる。

除去方法：飛散ないように掃除機等で吸い取って回収する。又はスコップ、箒等で集め、袋等に回収する。床面等に付着したものは水で洗浄し、濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等には直接流出しないように対策をとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策：目、皮膚等への接触を避けるため適切な保護具（手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク）を着用する。

作業終了後は、手洗い、うがいを十分に行う。

注意事項：粉塵がたたないように注意する。換気に注意する。

破袋するような乱暴な取扱いはしない。

安全取扱い注意事項：暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う。硬化剤との混合物の蒸気を含め、温度上昇時に生じる蒸気吸入、皮膚への接触を避ける。

【保管】

適切な保管条件：乾燥した場所に保管する。極力粉塵がたたないようにする。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：室内で取り扱う場合は許容濃度以下にするため局所排気装置を備える。
多量に取り扱う時は集塵機を設置する。

管理濃度・許容濃度

管理濃度	：（労働安全衛生法・作業環境評価基準）	2. 9mg/m ³
許容濃度：日本産業衛生学会	’ 91年度 第2種粉塵	吸入性粉塵 1 mg/m ³ 総粉塵 4 mg/m ³
ACGIH	’ 92年度	総粉塵 10 mg/m ³

【保護具】呼吸器の保護具：粉塵マスク

手の保護具：保護手袋

目の保護具：防塵眼鏡

皮膚及び身体の保護具：保護衣、長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態：短繊維混合分散型セメント状混合粉体

比重：2～2.5

揮発性：なし

溶解性：水に難溶性

引火点：不燃物質

可燃性：不燃物質

発火点：不燃物質

酸化性：不燃物質

導電性：あり。電気抵抗率 0.2Ω-m以下

その他：爆発性なし、水硬性

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 自己反応性・爆発性なし
危険な反応 : 導電性 : 炭素繊維は導電性であるため大気中に浮遊したフライが電気系統で短絡を起こす危険性がある。この為フライの発生懸念がある場所では電気系統に防塵対策を施す必要がある。
危険有害な分解生物 : 現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

- 急性毒性 : データなし
皮膚腐食性 : データなし
刺激性(皮膚、眼) : 水と接触すると、水酸化カルシウムを生じアルカリ性(PH=11~13)を呈し、目や皮膚を刺激する。
長期毒性 : 多量に吸引すると「じん肺」になる恐れがある。

12. 環境影響情報

- 生態影響についてはデータなし。
接触水はアルカリ性(PH=11~13)なので環境に影響を及ぼさないよう注意する。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 固化後 廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づき廃棄する。洗浄水の廃棄は水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するよう留意する。焼却したりすると炭素繊維のフライが発生し、大気中に浮遊、電気障害になる危険性があるので避けて下さい。
汚染容器・包装 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

- 注意事項 : 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
粉塵のたたない方法で輸送する。
破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。
湿気、水濡れに十分注意する。
国連分類、国連番号 : 国連の定義上危険物に該当しない。

15. 適用法令

- 消防法 : 該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法) : 該当物質なし
労働安全衛生法 : 粉じん障害防止規則
名称等を通知すべき有害物(法第57条の2)(シカ)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
じん肺法
水質汚濁防止法

16. その他の情報

- 危険・有害性の評価は必ずしも充分でないので取扱いには充分注意して下さい。